

## 海徳海山の火山活動解説資料（令和4年8月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

海徳海山付近で、18日及び19日に変色水を確認したとの通報が、19日にありました。また、23日及び28日に海上保安庁が実施した上空からの観測でも、海徳海山で変色水及び浮遊物が認められました。

今後、海底噴火が発生する可能性があるため、23日20時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

### ○ 活動概況（図1、図2）

海徳海山（東京の南約1,050km、母島の南西約120km）付近で、18日及び19日に変色水を確認したとの通報が19日にありました。

23日及び28日に海上保安庁が実施した上空からの観測でも、海徳海山で変色水及び浮遊物が確認されました。

海徳海山では、2001年8月以降、噴火や変色水などの特異事象は認められていませんでした。今期間認められた変色水は、火山活動の活発化を示していると考えられます。

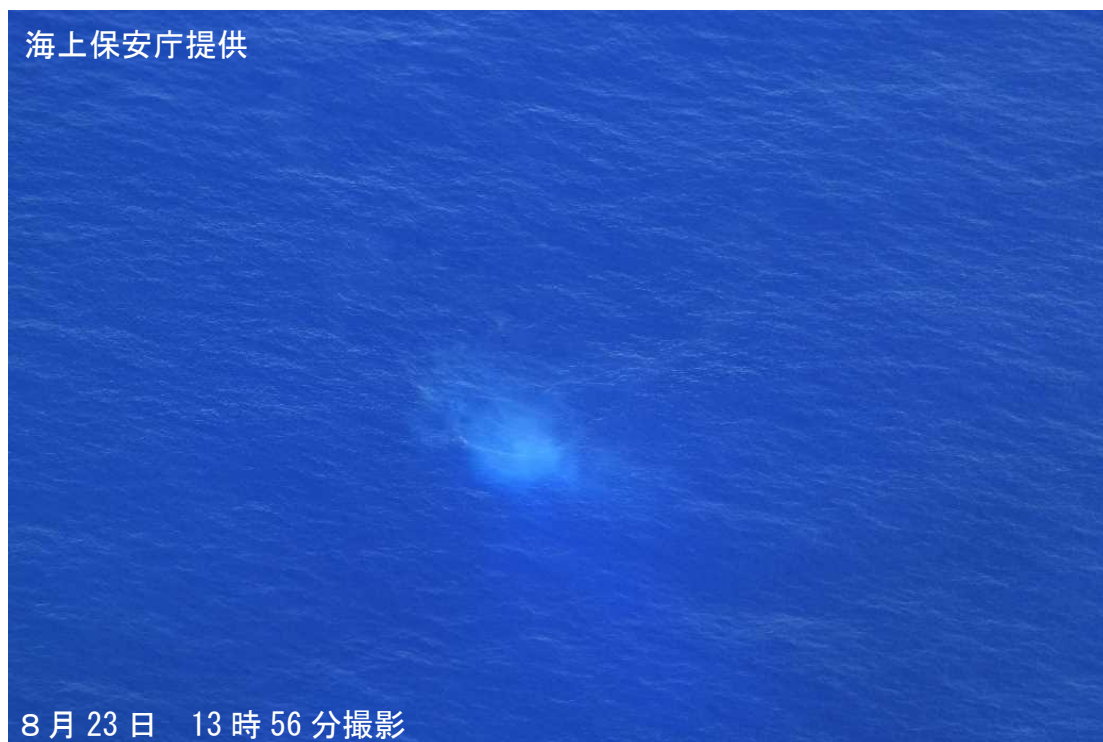


図1 海徳海山 23日の状況

- ・23日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、海徳海山のほぼ直上に直径約100mの円形の薄い黄白色の変色水及び浮遊物が認められました。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。

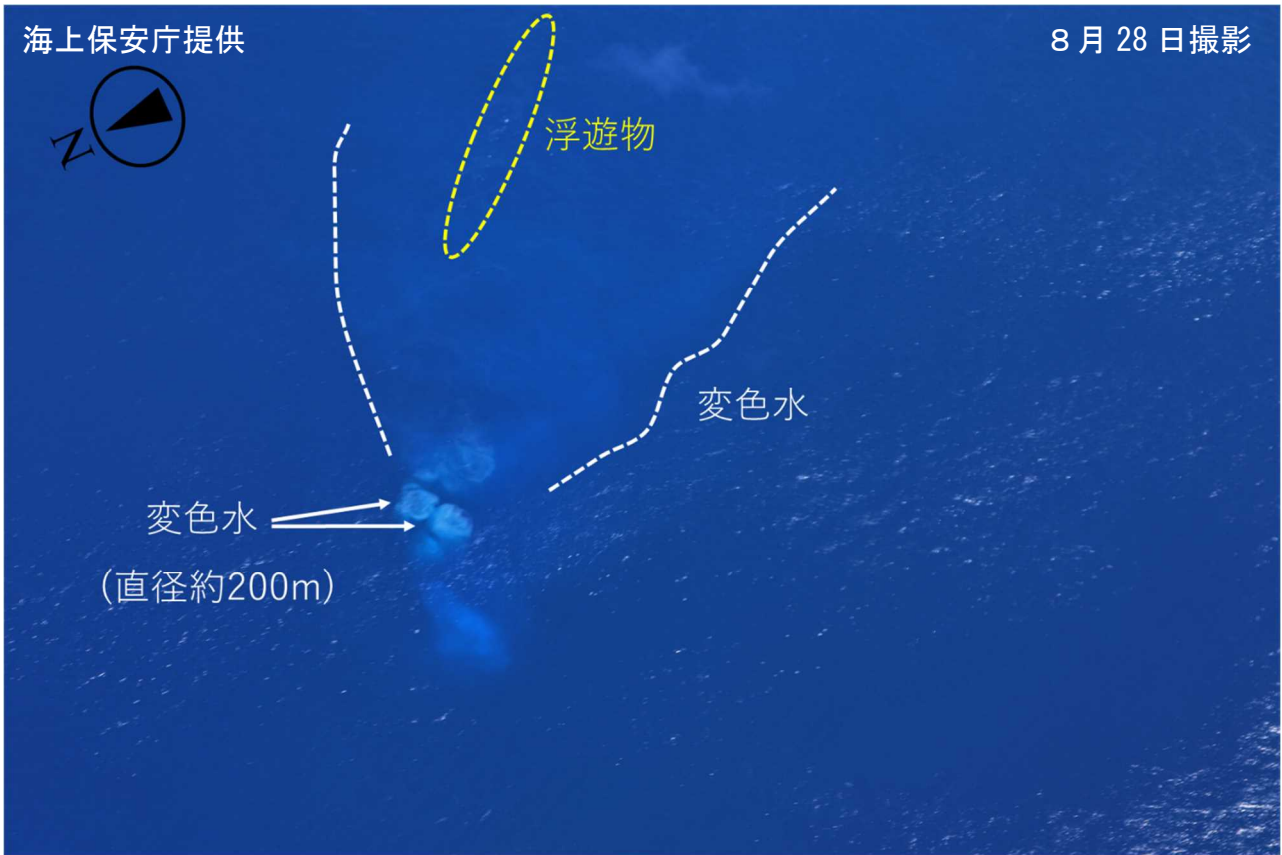


図2 海徳海山 28日の状況

- ・28日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、海徳海山のほぼ直上に直径約200mの円形の白色の変色水が複数認められました。
- ・海徳海山から南東にかけて幅約200m、長さ約6,000mの範囲に浮遊物が認められました。

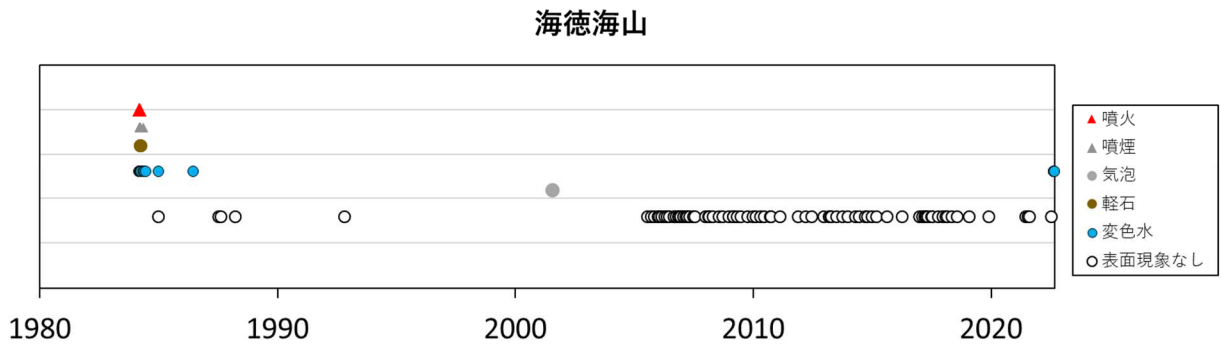


図3 海徳海山 1980年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲及び△はそれぞれ噴火及び噴煙（1984年）を示します。●及び●はそれぞれ変色水及び軽石が認められた観測、○は変色水等が認められなかった観測、●は気泡が認められた観測を示します。

海上保安庁、海上自衛隊、気象庁、漁船及び報道機関等の観測による。

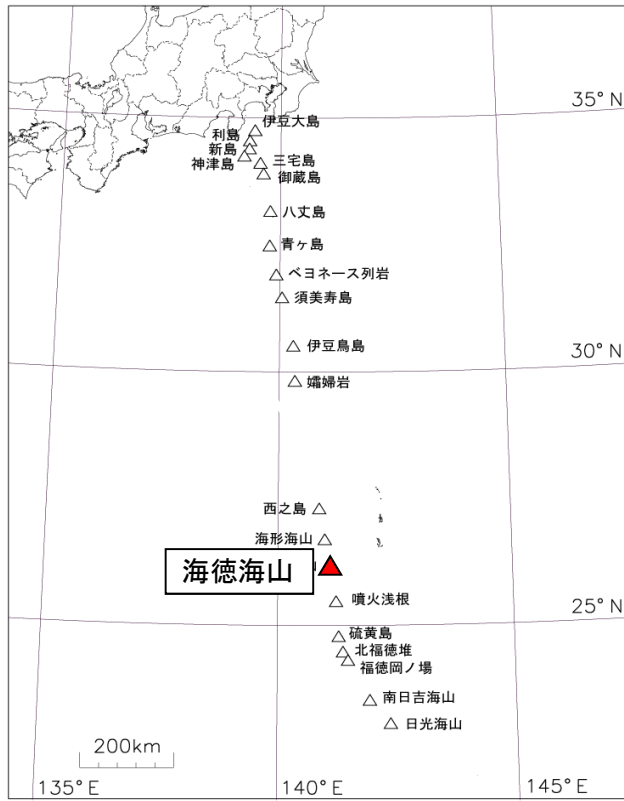


図4 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び海徳海山の位置図

海徳海山は、東京の南約1,050 km、小笠原諸島母島の南西約120kmに位置します。